

第 1 回 官庁施設の被災状況に関する情報収集等効率化検討会 議 事 概 要

■日 時：平成 25 年 12 月 24 日(火) 10：00～12:00

■場 所：中央合同庁舎第 2 号館 低層棟 共用会議室 6

■出席者：宮村座長、池田委員、橋浦委員、濱谷委員

(国土交通省大臣官房官庁営繕部) 計画課長、設備・環境課長

■議事概要：

- ・規約第 3 条により、座長が選出され、宮村委員が座長となった。
- ・事務局から資料説明の後、議論を行った。
- ・委員からの主な意見等は次のとおり。

<対象施設の考え方について>

○対象施設の全体像をつかむのも収集目的の 1 つだと思うが、情報の入ってこない施設が事前に想定されるのであれば、優先して集める施設と分けて考えてもよいのでは。

<施設管理者の責任と官庁営繕の関わりについて>

○事故が生じると、施設管理者の責任が問われるため、施設管理者の使用可否判断を支援するという大きな責任を伴う。また、事務系の長が責任をもって判断できるような体制を整備することも重要。

<平常時における対策について>

- 災害時に被害の程度等を判断するためには、平常時に現況図等の施設情報が整理されていることが重要。
- 施設管理者に対する教育や初動訓練も行った方がよい。被害写真を初めて見ても、専門家ではない施設管理者では判断がつかないことが多い。
- あらかじめ、外部の専門業者等を含めた協力体制を組んでおくのも効果的。
- 平常時に備えるべき情報や事前の訓練等を含めた課題の全体像を踏まえて、今回の検討対象の位置づけを整理すべき。

<報告様式の記載内容について>

- どの建物にも共通する調査項目と、建物の特徴に応じて調査すべき項目という観点で、整理することが必要。
- 写真を撮るべきポイントを、施設管理者に伝えることも重要。弱点となりうる箇所の写真を事前に撮っておき、同じ箇所の被害写真と見比べれば、少ない情報でも被害の程度が把握しやすい。
- 平常時に備えるべき情報を含めて時間軸で捉え直すと、報告様式の記載内容がさらに整理される。

<その他>

- 収集した被害情報を本省として掘り下げて理解することも必要である。例えば、同じ停電でも6万ボルトの特別高圧で受電している施設の場合は、広域のインフラ途絶等の重大な被害であると推測可能。
- 被災者の避難所として使われる場合に把握すべき情報について今回の検討対象とするのかも、整理が必要。

官庁営繕行政の目的と役割

【目的】 国家機関の建築物等について、
 災害を防除し、公衆の利便と公務の能率増進を図る
 「庁舎を、国民の公共施設として、親しみやすく、便利で、かつ、安全なものに」

災害の防除	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害に対して安全・堅固 ● 入居機関の機能に応じた災害対策拠点機能の確保
公衆の利便	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用しやすい位置に集約化 ● 高齢者等を含む全ての公衆にとって利用しやすい
公務の能率増進	<ul style="list-style-type: none"> ● 狭あいを解消 ● 照明・空調・情報通信設備等の執務環境の確保

【役割】

官庁営繕

基準制定、
指導及び監督

官公法※に基づき

施設整備

国家機関の
建築物全体
(約4千9百万㎡)

○国土交通大臣の整備対象外

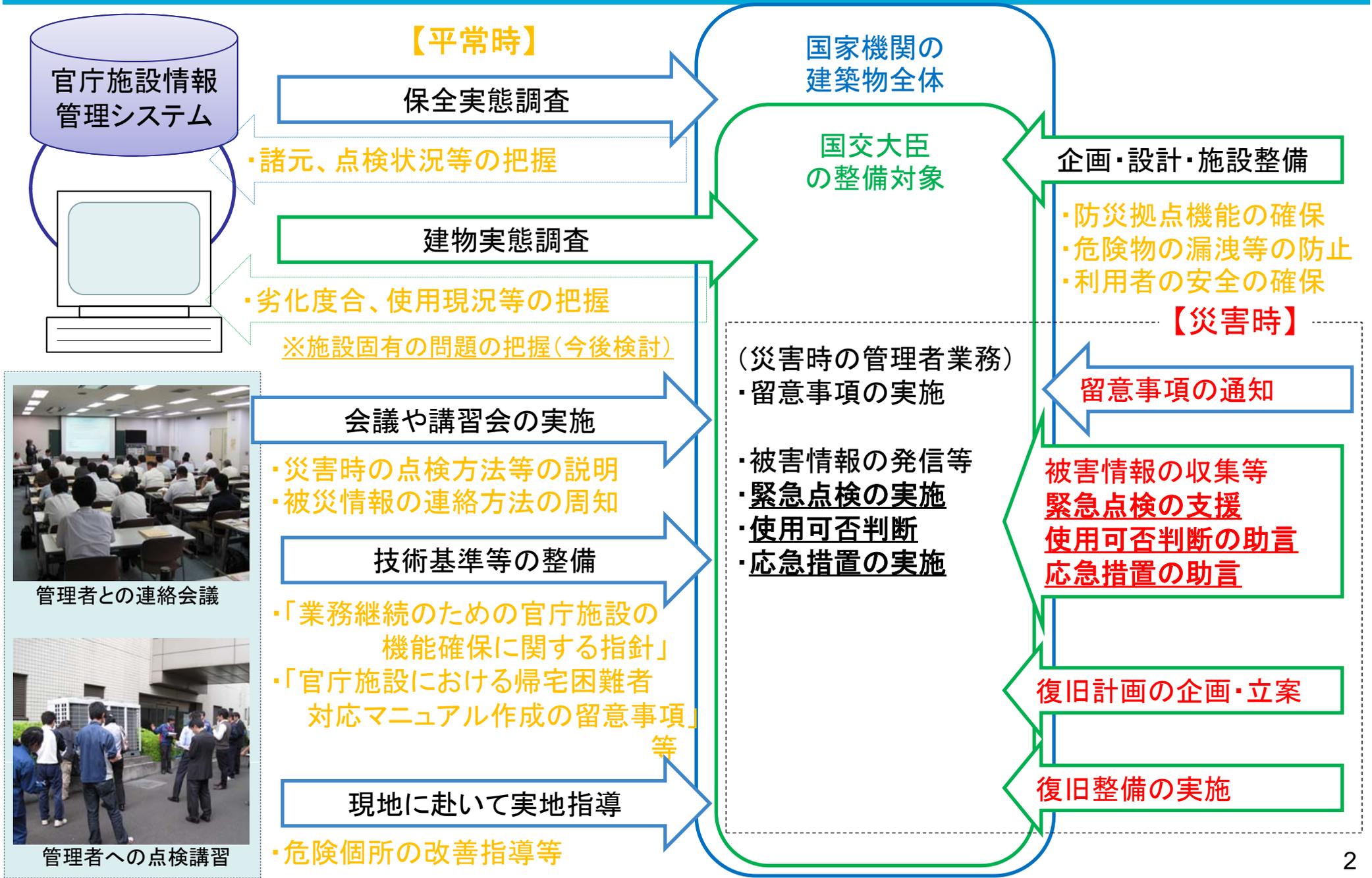
- ・ 国会議事堂 ・ 特殊な防衛施設
- ・ 刑務所 特別会計施設 等

○国土交通大臣の整備対象(1千9百万㎡)

- ・ 総理大臣官邸 ・ 試験研究機関 ・ 社会福祉施設
- ・ 中央合同庁舎 ・ 研修施設 ・ 迎賓館
- ・ 地方合同庁舎 ・ 図書館 ・ 博覧会政府館
- ・ 一般庁舎 ・ 国際会議場

※官公庁施設の建設等に関する法律

平常時も含めた防災業務の全体像



1. 各主体間における通信手段の配備状況

- 本省庁間では、マイクロ無線回線が整備
- 各本省庁と現地庁の間では、一部の省庁で衛星電話が配備
- 国交本省と整備局等の間では、マイクロ無線回線が整備
- 整備局等と現地庁の間では、商用回線以外の通信手段は配備されていない

○:整備、△:一部整備、×:なし

通信手段の種類 (※下線は商用回線)		各主体間における配備状況				
		国交本省 ↔ 各本省庁	各本省庁 ↔ 現地庁	国交本省 ↔ 整備局等	整備局等 ↔ 現地庁	
音声	固定	固定電話(音声)	○	○	○	○
		固定電話(FAX)	○	○	○	○
		マイクロ無線回線	△ (※1)	×	○	×
		衛星電話	×	△ (※2)	×	×
	移動	携帯電話(音声)	△ (※3)	△ (※3)	○	△ (※3)
データ	固定	インターネット(メール)	○	○	○	○
	移動	携帯電話(メール)	△ (※3)	△ (※3)	○	△ (※3)

※1:無線網は整備されているが、施設担当部署に内線がない省庁もあり ※2:一部の省庁 ※3:個人携帯

2. 配備されている通信手段の特徴

- 通信規制や停電等、障害発生による影響度の観点で見ると、
マイクロ無線回線、衛星電話、インターネットメール、携帯電話メールが、比較的信頼性が高い
 ○各部位の被害情報等を伝達することを考慮すると、データ通信が有効。

○：平常時とほぼ変わりなく使用可、△：影響あり、×：使用困難又は不可

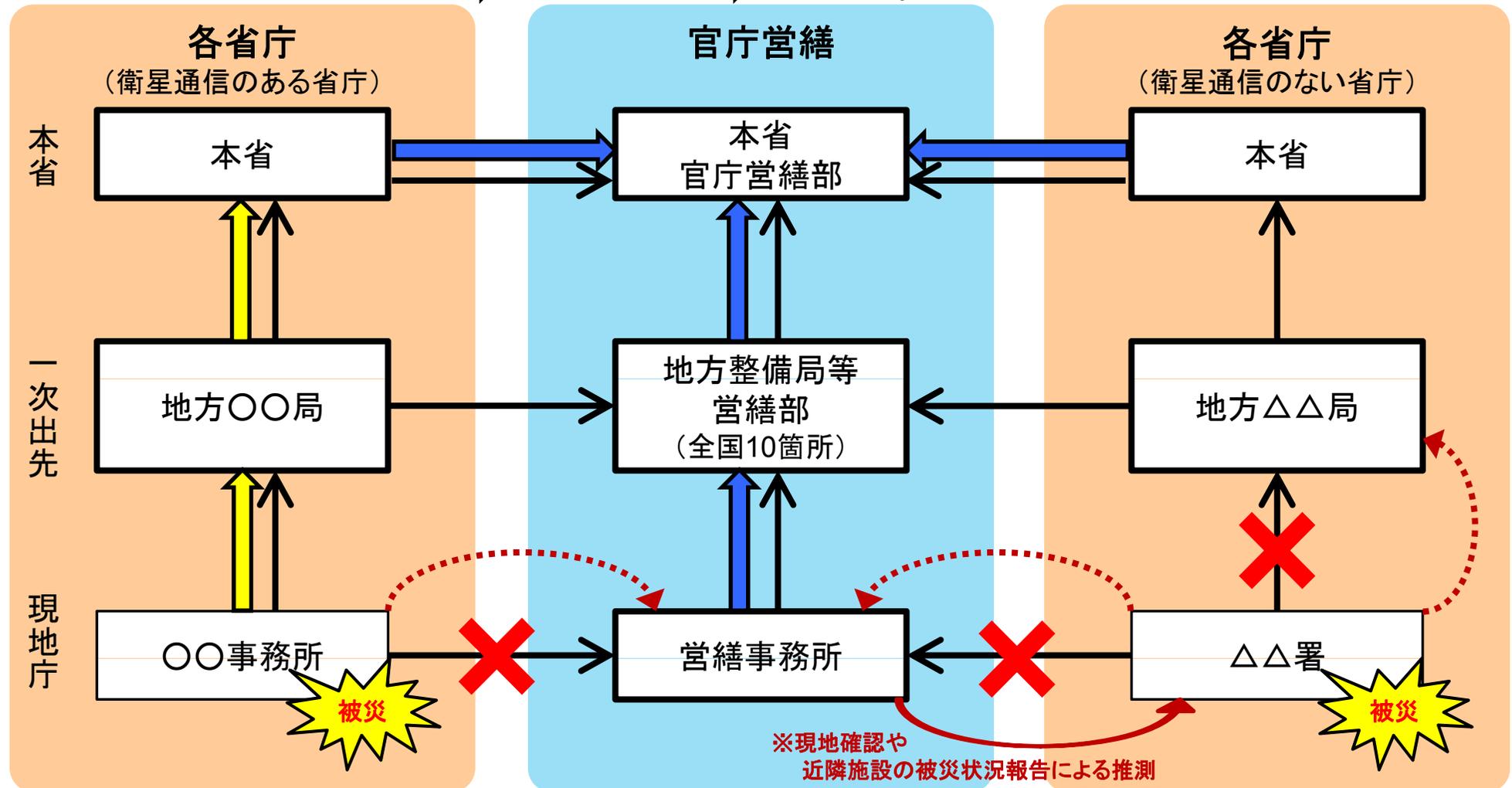
通信手段の種類 (※下線は商用回線)		障害発生による影響度		
		通信規制	通信基盤の被災 (基地局、伝送路等)	周辺地域の停電 (短期間)
音声	固定	<u>固定電話(音声)</u>	×	△ (※1)
		<u>固定電話(FAX)</u>	×	△ (※1)
		マイクロ無線回線	○	○
		衛星電話	○	△ (※2)
	移動	<u>携帯電話(音声)</u>	×	△ (※2)
データ	固定	<u>インターネット(メール)</u>	○	△ (※1)
	移動	<u>携帯電話(メール)</u>	○	△ (※2)

※1: 庁舎に非常電源を有する場合は回避 ※2: 端末のバッテリー容量の範囲で回避
 電気通信事業者協会へのヒアリングを基に作成

3. 各主体における情報収集・伝達ルート

- 商用回線が途絶した場合、本省庁間ではマイクロ無線回線による情報収集・伝達が可能
- 商用回線が途絶した場合、一部の省庁では衛星電話による情報収集・伝達が可能
- 商用回線が途絶した場合、現地庁からの情報収集には携帯電話メール等が必要

➡ マイクロ無線回線
 ➡ 衛星電話
 ➡ 商用回線(固定電話、FAX、メール)
 ⋯➡ 携帯電話メール



1. 様式の再編成・共有範囲拡大

○官庁営繕が行う災害応急対策活動の目的に合致した様式に再編成

- ・各省庁及び整備局等による被害総数や被害概要の把握 →「新様式1」
- ・施設管理者による業務継続可否判断と整備局等による助言 →「新様式2」

○転記・集計作業を最小化できるよう、共有範囲を拡大

- ・「新様式1」「新様式2」とも、インターネットメールによりデータ共有

2. 記載内容の整理・絞り込み

【新様式1】

- 被害総数を把握できるよう、被害施設数を集計
- 効率的な支援に活用できるよう、各部位の被害有無や調査の要否を一覧で整理

【新様式2】

- 施設管理者が安全を確認しながら順次点検できるよう、3段階で整理
 - ①建物調査が可能な場合に、一見して分かる危険により立入可否を判定
 - ②建物全体に著しい被害がない場合、外部を見て立入可否を判定
 - ③外部に著しい被害がない場合、内部を見て業務継続可否を判定
- 事務職等の施設管理者でも容易かつ迅速に点検可能な情報に絞り込み
 - ・緊急時には、携帯電話メールの使用も想定して報告項目を絞り込み
- 専門家による技術的判断を円滑に行うために写真を撮影すべき部位を明示

1. 報告様式の再編成・共有範囲拡大

- 官庁営繕が行う災害応急対策活動の **目的に合致した様式に再編成**
- 転記・集計作業を最小化できるよう、**共有範囲を拡大**

現 状

: 共通様式
 : 任意様式
 ← : 転記・集計作業

官庁営繕が行う 災害応急対策活動		各主体が使用する様式				
		(国交省)本省	整備局	事務所	(各省庁)一次出先	現地庁
被害情報の 収集・伝達	被災地域内の 被害施設数の把握	様式1			被災状況一覧	
	被害概要の把握 (一見して分かる被害)					
使用可否判断に係る助言			※必要に応じて現地調査		様式3	
応急措置に係る助言					各施設の点検結果	
留意事項の通知						

改善後

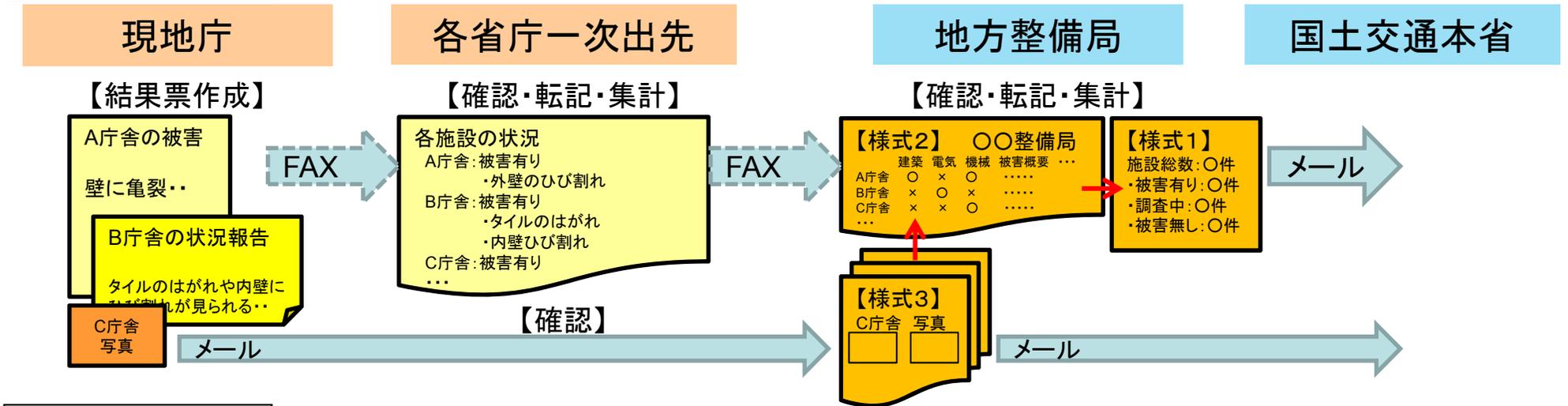
官庁営繕が行う 災害応急対策活動		各主体が使用する様式				
		(国交省)本省	整備局	事務所	(各省庁)一次出先	現地庁
被害情報の 収集・伝達	被災地域内の 被害施設数の把握	新様式1				
	被害概要の把握 (一見して分かる被害)					
使用可否判断に係る助言			※必要に応じて現地調査			
応急措置に係る助言		新様式2				
留意事項の通知						

報告様式の改善方針

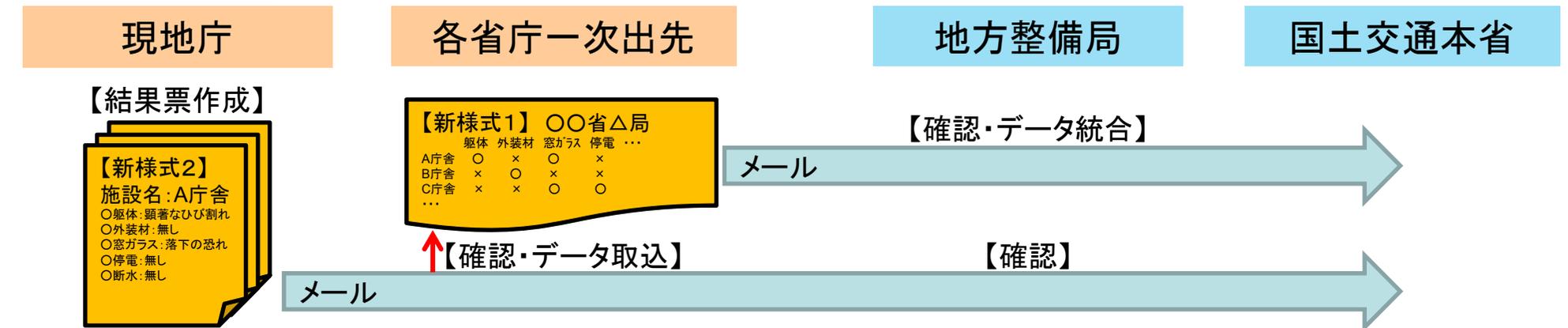
1. 報告様式の再編成・共有範囲拡大(インターネットメールによるデータ共有の流れ)

- ・インターネットメールで共通様式をやりとりすることにより、**転記・集計作業を削減**
- ・**新様式2のデータを新様式1に取り込む**ことにより、**転記・集計作業を削減**

現状



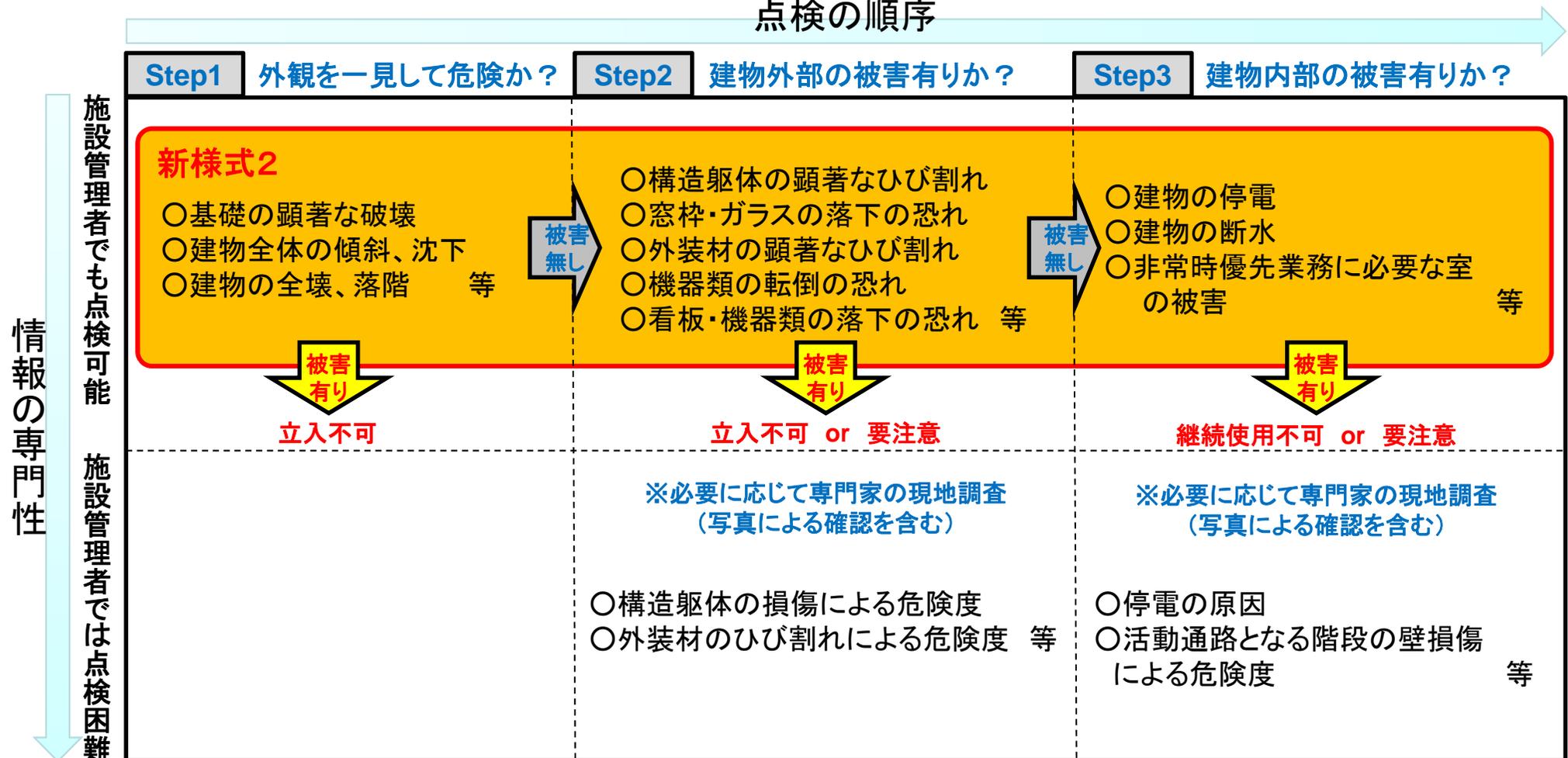
改善後



2. 記載内容の整理・絞り込み(新様式2)

- 施設管理者が安全を確認しながら順次点検できるよう、**3段階で整理**
- 事務職等の施設管理者でも**容易かつ迅速に点検可能な情報**に絞り込み
- 専門家による技術的判断を円滑に行うために**写真を撮影すべき部位**を明示

点検の順序



2. 記載内容の整理・絞り込み(携帯電話メールの使用を想定した対応)

- ・インターネットメールが使用できない場合に、**携帯電話メールを用いた情報収集**を想定
- ・操作性を考慮し、報告項目を**主な被害状況や業務継続状況等に絞り込み**

【新様式2】

【携帯電話画面】

0. 人的被害等		被害の状況		特記事項	写真
① 人的被害	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> あ有り				
② 火災	<input type="radio"/> 無し <input checked="" type="radio"/> 有り	<input type="checkbox"/> い煙 <input type="checkbox"/> う火災 <input type="checkbox"/> えガス臭 <input checked="" type="checkbox"/> お油漏れ		外部西側、機器転倒	
③ 浸水	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り	<input type="checkbox"/> か浸水 <input type="checkbox"/> き周辺道路浸水			
建物調査可否の判定	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 0不可				

1. 建物全体の被害(外観を一見して危険と分かるもの)

項目		被害の状況		特記事項	写真
① 建物全体又は一部	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り	<input type="checkbox"/> 基礎の著しい破壊・上部構造との著しいずれ <input type="checkbox"/> 著しい傾斜 <input type="checkbox"/> 崩壊・落壁			(1)
② その他	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り	<input type="checkbox"/> 隣地建物の倒壊による危険 <input type="checkbox"/> 周辺地盤の崩壊による危険			(2)
立入可否の判定	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 1不可・建物退去(上記1以上該当する場合)				

2. 建物外部の被害

項目		被害の状況		特記事項	写真
① 構造躯体	<input type="radio"/> 無し <input checked="" type="radio"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 柱・梁の部分的ひび割れ・剥離 <input type="checkbox"/> コンクリートの著しいひび割れ・鉄筋露出 <input type="checkbox"/> 鉄骨の柱・筋交いの部分的亀裂 <input type="checkbox"/> 鉄骨の柱・筋交いの著しい破断		東側の外周柱数カ所にひび割れ	(3)
② 落下危険物	<input type="radio"/> 無し <input checked="" type="radio"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 窓枠・ガラスの歪み・ひび割れ <input type="checkbox"/> 窓枠・ガラスの落下の恐れ <input checked="" type="checkbox"/> 外装材のひび割れ・剥離 <input type="checkbox"/> 外装材の緩着なひび割れ・剥離 <input type="checkbox"/> 看板・機器類の傾斜 <input type="checkbox"/> 看板・機器類の落下の恐れ		南側の外壁タイルが一部落下(別館)	(4)
③ その他	<input type="radio"/> 無し <input checked="" type="radio"/> あ有り				(5)
立入可否の判定	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 要注意 <input type="radio"/> 2不可・建物退去				

3. 建物内部・ライフラインの被害 「0.人的被害等」に該当するものが明らかになった場合は、0.に記入して下さい。

項目		被害の状況		特記事項	写真
① 執務空間(※)の電力	<input type="radio"/> 無し <input checked="" type="radio"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 停電(非常用発電設備稼働中) <input type="checkbox"/> 停電(非常用発電設備停止orなし)	<input type="checkbox"/> 周辺一帯の停電 <input type="checkbox"/> 周辺状況不明		(6)
② サーバ室等の空調	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> あ有り				(7)
③ トイレ等の給水	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> あ断水		<input type="checkbox"/> 周辺一帯の断水 <input type="checkbox"/> 周辺状況不明		(8)
④ 執務空間(※)等のその他被害	<input type="radio"/> 無し <input checked="" type="radio"/> 有り	<input type="checkbox"/> あ天井落下 <input type="checkbox"/> び漏水 <input checked="" type="checkbox"/> その他		1F玄関ホール内壁の一部にひび割れ	(9)
業務継続可否の判定	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 4要注意 <input type="radio"/> 5不可				

※災害対策本部や災害応急対策業務エリアを行うエリア、通常業務のうち優先度の高いものを行うエリア

項目		被害の状況		特記事項	写真
当館部による現地調査の要否	<input checked="" type="radio"/> 不要 <input type="radio"/> 6必要	理由	柱に部分的なひび割れが生じているが、どの程度危険か分からないため。		

①件名に施設名を記載

宛先

件名

国土交通省 〇〇様

下記のとおり被災状況を報告します。

②「あ～ほ」及び「0～6」の記号が付された項目のうち、該当するものの記号を、連続で入力し、そのまま送信

宛先
所属名: ○○地方整備局 営繕部 ○○
Eメール:
TEL:
FAX:

宛先(送信元)
所属名:
Eメール:
TEL:
FAX:

送信元
所属名:
氏名:
Eメール:
TEL:
FAX:

被災状況報告書 様式2

報告対象
・地震が観測された地域で、被害が生じた場合はご連絡ください。
・地震5弱以上の地震が観測された地域では、被害の有無にかかわらず、施設の状況をご連絡ください。
・職員の安全を確保でき次第、できるだけ早期にご連絡ください。また、状況に変化又は記載内容に変更があった場合は、「第〇報」の数字を更新してご提出ください。
・津波警報が発令されている場合、余震が続いている場合は、無理して点検しないで下さい。夜間発災の場合は翌朝明るくなってから点検してください。

報告要領
1) 災害発生時、本票に必要な事項をご記入いただき、Eメール(使用できない場合はFAX)にて宛先まで送付願います。
2) 立入可否や継続可否の判定ができるまで、0. から順に、該当項目全てに記入してください。(※特記事項欄には、被害を受けた棟名称や室名、被害の詳細等を記入)
3) 複数棟ある場合は、主要建物の被害を中心に記入し、付属屋の被害については着しい場合のみ該当項目に記入してください。
4) 写真欄に番号が付されたものは、その項目に被害がある場合に写真を添付してください。(※被害の部位や状況を把握しやすいよう、遠景と近景を撮影) その際ファイル名などで番号に対応した写真が確認できるようにしてください。
5) EメールやFAXが使用できない場合は、携帯メール等にて、「施設名」と該当箇所の記号【あ～め】【0～3】を送付してください。(※復旧後に、本紙も送付)

施設名	○○合同庁舎	対象災害	
所在地	△△県○○市××町123番	報告日時	西暦 20××年 4月 1日 10時 30分 第 1報

項目	被害の状況		特記事項	写真
① 人的被害	<input checked="" type="radio"/> 無し	<input type="radio"/> 【あ】有り		
② 火災	<input type="radio"/> 無し	<input checked="" type="radio"/> 有り (<input type="checkbox"/> 【い】煙 <input type="checkbox"/> 【う】火災 <input type="checkbox"/> 【え】ガス臭 <input checked="" type="checkbox"/> 【お】油漏れ)	外部西側、機器転倒	
③ 浸水	<input checked="" type="radio"/> 無し	<input type="radio"/> 有り (<input type="checkbox"/> 【か】浸水 <input type="checkbox"/> 【き】周辺道路浸水)		
建物調査可否の判定	<input checked="" type="radio"/> 可	<input type="radio"/> 【0】不可		

1.へ

項目	被害の状況		特記事項	写真
① 建物全体又は一部	<input checked="" type="radio"/> 無し	<input type="radio"/> 有り (<input type="checkbox"/> 【く】基礎の著しい破壊・上部構造との著しいずれ <input type="checkbox"/> 【け】著しい傾斜 <input type="checkbox"/> 【こ】崩壊・落階)		(1)
② その他	<input checked="" type="radio"/> 無し	<input type="radio"/> 有り (<input type="checkbox"/> 【さ】隣地建物の倒壊による危険 <input type="checkbox"/> 【し】周辺地盤の崩壊による危険)		(2)
立入可否の判定	<input checked="" type="radio"/> 可	<input type="radio"/> 【1】不可・建物退去(上記に1以上該当する場合)		

2.へ

項目	被害の状況		特記事項	写真
① 構造躯体	<input type="radio"/> 無し	<input checked="" type="radio"/> 有り (<input checked="" type="checkbox"/> 【す】コンクリートの部分的ひび割れ、剥離 <input type="checkbox"/> 【せ】コンクリートの著しいひび割れ、鉄筋露出 <input type="checkbox"/> 【そ】鉄骨の柱梁・筋交いの部分的亀裂 <input type="checkbox"/> 【た】鉄骨の柱梁・筋交いの著しい破断)	東側の外周柱数カ所にひび割れ	(3)
② 落下危険物	<input type="radio"/> 無し	<input checked="" type="radio"/> 有り (<input checked="" type="checkbox"/> 【ち】窓枠・ガラスの歪み、ひび割れ <input type="checkbox"/> 【つ】窓枠・ガラスの落下の恐れ <input checked="" type="checkbox"/> 【て】外装材のひび割れ、剥離 <input type="checkbox"/> 【と】外装材の顕著なひび割れ、剥離 <input type="checkbox"/> 【な】看板・機器類の傾斜 <input type="checkbox"/> 【に】看板・機器類の落下の恐れ)	南側の外壁タイルが一部落下(別館)	(4)
③ その他	<input type="radio"/> 無し	<input checked="" type="radio"/> 【め】有り		(5)
立入可否の判定	<input type="radio"/> 可	<input checked="" type="radio"/> 要注意	<input type="radio"/> 【2】不可・建物退去	

3.へ

項目	被害の状況		特記事項	写真
① 執務空間(※)の電力	<input type="radio"/> 無し	<input checked="" type="radio"/> 有り (<input checked="" type="checkbox"/> 【ね】停電(非常用発電設備稼働中) <input type="checkbox"/> 【の】停電(非常用発電設備停止or無し))	<input type="checkbox"/> 【は】周辺一帯の停電 <input type="checkbox"/> 【ひ】周辺状況不明	(6)
② サーバ室等の空調	<input checked="" type="radio"/> 無し	<input type="radio"/> 【ふ】有り		(7)
③ トイレ等の給水	<input checked="" type="radio"/> 無し	<input type="radio"/> 【へ】断水	<input type="checkbox"/> 【ほ】周辺一帯の断水 <input type="checkbox"/> 【ま】周辺状況不明	(8)
④ 執務空間(※)等のその他被害	<input type="radio"/> 無し	<input checked="" type="radio"/> 有り (<input type="checkbox"/> 【み】天井落下 <input type="checkbox"/> 【む】漏水 <input checked="" type="checkbox"/> 【め】その他)	1F玄関ホール内壁の一部にひび割れ	(9)
業務継続可否の判定	<input type="radio"/> 【3】可	<input checked="" type="radio"/> 【4】要注意	<input type="radio"/> 【5】不可	

※災害対策本部や災害応急対策業務エリアを行うエリア、通常業務のうち優先度の高いものを行うエリア

営繕部による現地調査の要否	<input type="radio"/> 不要	<input checked="" type="radio"/> 【6】必要	理由	柱に部分的なひび割れが生じているが、どの程度危険が分からないため。
---------------	--------------------------	--	----	-----------------------------------

◆様式1集計用

全体被害	0.人的被害等				1.建物全体の被害				2.建物外部の被害				3.建物内部の被害				調査状況	業務	現地調査								
	①	②	③	調査可否	①	②	③	調査可否	①	②	③	調査可否	①	②	③	調査可否											
○	-	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○	-	-	○	△	○	-	-	-	-	-	-	○	△	要

◆携帯メール送付用(下記記号を記載してください。)

お	す	ち	て	ぬ	ね	め	4	6
---	---	---	---	---	---	---	---	---

H25年度

12/24 第1回検討会

- ①災害時における官庁営繕の役割と収集すべき情報について
- ②災害時における情報収集・伝達の現状と課題について
- ③報告様式の改善方針(案)について



2/20 第2回検討会

- 災害時における信頼性の高い通信手段について
- 報告様式(案)について

整備局等へ意見照会



報告様式(案)の策定

H26年度

- 被災情報を効率的かつ確実に共有するための体制について
 - ・災害時の情報伝達ルート多重化
 - ・施設特性に応じた情報収集対象の優先順位設定
 - ・平常時における情報共有
- 応急対策機能確保のための機能分散やデータバックアップについて 等

年度内

情報共有するしくみのルール化

(※報告様式にも適宜反映)